

## 運営推進会議記録

開催日時	平成28年3月23日(水)	場所	サンフラワーグリーンホーム内川治ユニット				
	14時00分～15時45分						
参加者	グリーンホーム施設長 春井(議長)、ケアセンター管理者 佐藤(書記)、グリーンホーム生活相談員 木下、ケアセンター介護支援専門員 菊田、小山市高齢生きがい課 菅原様、地域包括支援センター桑絹 藤本様、グリーンホーム利用者 大蔵様、ケアセンター利用者 松嶋様、ケアセンター利用者家族 井澤様、グリーンホーム利用者家族 塩澤様 ※民生委員 大島様、グループホーム利用者家族 濱様、グループホーム利用者中田様は都合により欠席						
活動内容及び回数等 ※別紙 運営推進会議資料参照							
<p>1. 開会あいさつ</p> <p>木下) ただ今より、平成27年度第5回運営推進会議を始めます。</p> <p>2. 管理者あいさつ</p> <p>春井) 本日はお忙しい中、また足元が悪い中での参加、誠に有難うございます。</p> <p>まず、会議の開催場所については、新規採用職員研修とISOの定期審査で本部会議室が使用できない為、本日はグリーンホーム内の川治ユニットを使用しての開催とさせていただきました。</p> <p>法人としては、5月に小山ロブレビル内5階に、キッズランドおやまという子供の遊び場の事業をオープン予定にて準備を進めている所です。小山市の地域活性化に貢献出来るよう取り組んで行きます。</p> <p>また、年度の切り替えにあたり、人事異動等もありますがサービスの質が落ちないよう取り組んでいきたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p> <p>3. 協議</p> <p>木下) 今回の協議事項としましては、通常の報告に加え、事業計画の報告とケアセンターの外部評価を行っていく予定で、特に外部評価に重点をおいて進めていますので、ご協力よろしくお願いいたします。</p> <p>1) サンフラワーグリーンホームの活動内容報告及び評価・助言等</p> <p>木下) グリーンホーム運営推進会議資料読み上げにて説明</p> <p>御意見・御質問等あれば宜しくお願ひ致します。</p> <p>参加者より、特に御意見・御質問なし。</p> <p>2) サンフラワーケアセンターの活動内容報告及び評価・助言等</p> <p>菊田) ケアセンター運営推進会議資料読み上げにて説明</p> <p>御意見・御質問等あれば宜しくお願ひ致します。</p> <p>佐藤) 補足としました、設備面にて(徘徊者対策として)人感センサーを設置いたしました。裏面の事故にて無断外出が1件あります。その際に西非常口から外のフェンスを開けて出て行く事例がありました。普段も西非常口から外に出て歩き回っている状況もありますので、人が通るとチ</p>							

チャイムが鳴るようなものが市販にてあり、それを購入して設置いたしました。基本的に普段通らない場所ですので、チャイムがなつたらまず駆けつけて確認する。また、1日1回チャイムの動作確認をして確実に反応するようにしております。また、ミラーの設置もし、廊下の死角を少しでも減らす事と角の衝突防止目的としての対策といたしました。

職員動向につきましては、配置積算の誤りがあり、今後小山市の方にも書類提出の上、減算の手続きをとっていく予定となっています。また、3月上旬に4月の人事異動発表がありました。その中でも介護職員が配置基準に足りていない所がありますので、引き続き求人を募集している所で、職員配置が充足するようすすめていきたいと思います。

伊藤) 外へ出てしまうという事故があつて、みつからなかつたら大変ですよね。色々皆さん頑張っているかと思うんですけど、そういう傾向のある方に対してどこにいても分かるようなものをつけなければいいんですけどね。

菊田) 小山市の方ではG P Sの貸し出しは行っていますが、利用者様によってはそういったものをつけるのを嫌がったり、よくお守り代わりに入れておきましょうとかぶら下げておきましょうというのもあつたりしますが、それをはずしてしまう人もいらっしゃるので、そこが難しい所ですね。

佐藤) 色々調べていると、靴のソールにG P Sがついていて、それで本人の場所が特定できるというのも民間のものであるようです。それなので、今は色々な方法があるのかなとは思います。

この利用者様は、ケアセンター利用が終わると自宅に帰る前にそのスーパーに奥様とよっている習慣があり、どこかでその記憶がつながってそのスーパーに入りウロウロしていくのかなとも考えられます。軽装で出掛けてしまい心配でしたが、そこに入っていただけで幸いでした。

普段もケアセンター内を常に歩き回っていて、疲れるとその場でしゃがみこんだりしているんですが、人がいる事を認識しているのか玄関から出て行く事はなく、西非常口では常に鍵を開けては出入りしています。あと、几帳面な性格で、鍵が（縦に）真っ直ぐになつていないと気になるようで、横（施錠）ではなく縦（開錠）の状態になつている事が多くあります。それなので常に開けて出入りしていますが、それは特に制限せず、職員が本人の動きを確認したり、設備面の所で工夫して対応しています。

木下) 徘徊のリスクの高い方に関しては、老人部門だけではなく出井地区の施設・事業所等内でリストを配布し情報共有して、敷地内で見かけた時には連絡をしていただくような対策もとっています。

伊藤) なるべくなら、警察にお世話をならないで済むようにしていけるといいですね。

### 3) サンフラワーグループホームの活動内容報告及び評価・助言等

菊田) グループホーム運営推進会議資料読み上げにて説明

御意見・御質問等あれば宜しくお願ひ致します。

佐藤) 補足として、ケアセンター同様、ミラーの設置もし、廊下の死角を少しでも減らす事と角の衝突防止目的としての対策といたしました。

塩澤) 事故の所で、K様の19件の転倒というのはとても多いようですが。

菊田) 認知症も進んでいて、尿意が頻回で、夜よく眠れていなくて身体は疲れているけれど気持ちばかりがあせって動き回っていて、転んだりしゃがみこんだりというのが多い方です。

佐藤) 歩行が安定していない状況なのに、歩きたい気持ちだけあって、前にいってしまう。以前は目

的があつて動いていた状況がありました。しかし、ここ数カ月の傾向としては、目的もなく、自分でも何をしたいのかが分からぬ、身体が動かないのにも関わらず歩こうとする。常に職員が見ている状況があり、夜間もそうですし昨日もあったようなんですが、かなり不穏な状況があつて、極力見ている状況でしたが、夕方何度か転倒が見られています。この方に関しては防げない事故なので、同様の転倒事故として経過をみつつ、大きな事故にならないようには対応しています。(他の入居者の方と職員で)食事の準備をしていても、その場から立ち上がり動き出してしまうという状況があります。職員が1名の時間帯でどちらも気を付けないといけない状況があり、昨日も現場職員と話した所なんですが、食事準備中にもリスクがあるので、基本的には目の前の方が優先である事と、その不穏な方の生活習慣の傾向を考えて対応しなければいけないと助言いたしました。

おぼつかない足で常に歩こうとしてしまうので、誰かが常時ついていない限りは転倒は防げない状況ではあります。

#### 4) 地域福祉推進の為の情報提供

##### ○小山市高齢生きがい課

菅原) 平成27年度も最後の運営推進会議という事で1年間ありがとうございました。年度初めには介護保険制度の大規模改正で、2割負担の方が出来たり、特養の食費や居住費の条件が変わったりと色々な変更があり慌ただしい状況でした。また、9月には水害(関東・東北豪雨)があり、各事業所さんには緊急でショートステイをお願いしたりと色々とお世話になった所もありました。

平成28年度はいよいよ要支援の方の通所と訪問が市町村事業という事で、総合事業に切り替わる年になります。いきなりガラッと変わるのでなく、今認定を受けている方が更新の手続きが来た時に、どうするか相談をしてサービスの内容を検討していくという事になります。基本的には、今まであったデイサービスやホームヘルパーがありますので引き続き同じサービスが利用出来るようになっています。あとはなぜ総合事業になるかというと、ケアセンターでも同様ですが、担い手不足ということがあります。これから国は施設をどんどん作りますが、実はその担い手となる職員がみつからない。どうするかというと、元気な高齢者の方に出来れば地域の担い手となつていただいて、老人クラブではすでにサロン運営とかでお世話になっています。そういうものを運営していって、閉じこもり防止をして居場所を作つていただくという事が充分介護予防につながりますし、そこに参加してくださる方も介護予防につながる。そういう事をしないと、担い手不足で介護保険制度がつぶれてしまったり、もしくは費用の上昇、4,600円だった保険料が約5,500円になってきていますが、最終的には8,000円になつてしまうのではという話もあがっています。そういう所で保険料もさることながら、国・県・市がお支払をしている負担金、全国規模で9~10兆円、小山市だけでも100億円近い1年間の介護保険費用がかかっています。将来的に今の若い人達が介護保険使う時に破たんしてしまうという事が絶対にないように、保険給付の無駄を省いて、地域の皆さんのが参加出来る部分はどんどん行っていただく機会を増やしていく。仕組みを構築したり、行政側が支援していく、2025年の10年後を目指してシステムを完成させようというのが総合事業に入っていくきっかけで、最初のステップとなっています。

小山市では色々なサービスの種類を作っているんですが、A、B、C等に分けた今までと同様の通所介護や訪問介護の他に、もう少し人員基準や設備を緩和したサービスを作つたり、住民の

方を中心のサービスであったりと色々な種類のサービスを考えているんですが、本当はサービス作りではなく、地域作りが大事だと国では言われている。どの先進地をみても、地域作りは10年がかりで構築しているので、今から準備を始めて2025年にはどここの地域でも出来上がるようにして、高齢者の方が安心して住んでいられるという目標を目指してまずは第一歩という事なので、小山市としては平成28年度4月からスタートします。他の7割程度の自治体は平成29年度から始める事になるようです。最初は試行錯誤で進んでいくかと思いますが、見守っていただいて、あとは事業所の皆さんにも色々な面でご協力いただくかと思いますし、地域作りの時には地域の皆さんにも色々なご相談を投げかけていったりという事もありますので、ご協力よろしく願い致します。

昨今虐待のニュースがあり、国からも県からも虐待防止に関する通知が行政や事業所にも来ております。各施設においては虐待防止の研修を自ら企画し、定期的に実施してほしいというのが1つ、あとは、施設における苦情処理体制、管理者の責任のもと、苦情受付のシステムが機能しているか、積極的に苦情を受け付けて、全職員で改善策を考えているか。また、介護職員というのは大変な仕事なので、ストレスマネジメント、メンタルヘルス等の精神面に配慮した職員面談等の実施をお願いしたいと言われています。それを踏まえて、明日地域密着型サービスの事業者対象に集団指導の中で虐待防止の研修会を合わせて行う予定をしています。去年、送迎時の事故で死亡者が出るという事件がありましたので、交通事故防止についても合わせて行います。消防法令の改正があり、介護施設の消防設備の基準が一部改正になっております。高齢者福祉施設の火災対策という事で、小山市消防本部予防課の職員からご説明させていただきます。

#### ○地域包括支援センター桑絹

藤本) 平成27年度1年間お世話になりました。地域包括支援センターといたしましては、桑市民交流センターが開設に伴いまして、そちらに3/26・27で引っ越しする事となります。3/28から新たに開所する予定となっています。相談等があった際にはそちらの方までお越しください。平成28年度も引き続き介護予防教室に力を入れておりますので、地域の皆さんの中ちょっとした集まりとか老人会でも大丈夫ですので、何かやって欲しい事とかこういうのを聞かせて欲しいという時にはおっしゃっていただければ出向きますので、その時にはご連絡ください。

#### ○上出井さわやか会

伊藤) 3/31に総会があり、現在はその準備を行っている所です。総会が終わって、次の日にはマルベリー館の手伝いで丸い飾りを竹の棒に飾る等の準備をする予定です。とてもよいものなので、来た方に差し上げられるよう、公民館の方で準備をしています。ゆうあいサロンの名前で出す予定です。そういう所で名前を出す事によって、少しは存在価値があるんじゃないかという事で考えています。正直、外からは何をやっているのか見えない分からないという状況がありますので、地域に少しでも発信していければいいとは思っています。

前回も話しましたが、自治会との協力が上手くできていない所があり、ここで機関誌を発行してはというアドバイスもありましたが、なかなか連携が難しいです。これからは元気な老人が弱い人を助けるというのには大賛成なので、少しでも協力出来ればと思っています。総会の時にも今日お話しいただいた事を伝えたいと思います。

## 5) その他

### ○事例検討

菊田) 事例検討資料読み上げにて説明

菅原) リハビリの方が対応してくださっているんですか。

菊田) そうですね、アドバイスとしてはいただいているんですが、グループホームには専門職がいる訳ではないので、アドバイスをもらって介護職員で出来る事を取り入れていきました。

佐藤) 法人内で他の施設にPT・OTがおりますので、本人の状況等を説明して所見していただき、職員で出来る範囲の内容をアドバイスしていただいて進めて行っているという所です。

菅原) やはりこうやって取り組んでいくと効果があるようですね。本人も声掛けにより姿勢もよくなってきていて、とてもいいですね。

佐藤) 出来る限り共同生活を継続していただく為には、まずはそいうった所の支援は必要かなとは思っています。ご本人も自分の出来る範囲で食事の手伝いをしたり、洗濯物を畳んだりという所で積極的には行っています。グループホームとしては皆さんとてもよい関わりの中で過ごされているなど感じます。

伊藤) この歩くと言うのはどのような事をしているんですか

菊田) 以前はグループホームからガーデンの玄関に歩いて行くのがやっとだったんですが、この前春先に職員と療護園の方まで散歩行ってきた時には、クリニック辺りまで行って戻ってきて、あと少しで到着しそうな距離の時に前傾姿勢になって足が速くなってしまったというのはありましたけど、体力的にも以前に比べればついてきている様子があります。

伊藤) うちのほうでも何か良い方法はないかなって思っている所ではあるので、少しは参考になればと考えてはいます。

佐藤) グループホームとケアセンターでは、午前と午後に歩行運動の時間を設けてご本人の体調に合わせて施設内を歩く時間を作っています。やらされているのではなく、自ら進んで行おうとするやる気を引き出せるような工夫が必要かと思います。

## 4、平成28年度事業計画

### ○サンフラワーグリーンホーム事業計画

木下) 事業計画の重点目標から抜粋しながら説明

全部で10個の重点目標があります。その中で特に重点的に行う内容としては、地域社会との交流としています。内容としては、地域の方々やボランティア等を施設に招いて、利用者と職員とともにレクリエーション・行事等を実施していくという事で地域交流を図っていく計画をしております。地域に開かれた施設となっていくためには、より多くの地域の方々を受け入れつつ、透明性のある事業に取り組んでいきたいと思います。

### ○サンフラワーケアセンター事業計画

佐藤) 事業計画の重点目標から抜粋しながら説明

全部で9個の重点目標があります。その中で特に重点的に行う内容としては、地域との交流の定期的な提供としています。今年度も地域との交流ということで取り組んではきましたが、計画不十分な部分があり、上出井さわやか会の皆さんにおやつ作りやミニ運動会だったりにご参加いただいたイベントもありましたが、定期的な開催とまではいかなかったので、計画の段階で詳細に打ち合わせさせていただいた上で進めていきたいと考えております。

また、サービス評価については平成27年度から取り入れられており、こちらを計画的に進めていく上で平成28年度は重点目標の1つとして進めていく事でしっかりと仕組み作りを確立していきたいと考えております。

○サンフラワーグループホーム事業計画

佐藤) 事業計画の重点目標から抜粋しながら説明

全部で8個の重点目標があります。その中で特に重点的に行う内容としては、心身の機能の維持とその人らしい生活を実現する為の取り組みという事で、まずは入居されている方が健康的でいつまでも共同生活を続けて行ける事が最大の目標になってきますので、それを達成する為には表記の内容について取り組んでいきたいと考えております。

また、チームで作る介護の実践という所で、グループホームとしては1年が経とうとしていますが、まだまだチームケアとしては不十分な所がありますので、チームで取り組むという事を主体に進めていきたいと考えております。

職員の資質向上については、ケアセンターとグループホーム共通で研修等を実施していく計画をしていますが、中途採用職員や新規採用職員等もこの後入ってきますので、接遇や記録に関する事認知症に関する継続的な研修、看取り等を中心に進めていく予定としています。

井澤) この事業計画は、会議に参加していない他の家族等にも配布したりしているんですか。

佐藤) 配布はしておりませんが、事業所内で閲覧出来るようにはしています。

井澤) 家族も把握しておいてもいい内容だと思うので、例えばおやつレク等の時に家族にも声掛けをして来ていただいて、説明する機会等を作ってもよいのではと思います。

佐藤) 分かりました。今後の検討事項として考えさせていただきます。

井澤) ケアセンターの安全衛生関係の所で、設備の修繕等について書かれていますが、個人の意見かもしれません、洗濯機を今のタイプより大きい物を導入する事も検討はしてくれるんですか。

佐藤) 今の所故障している訳ではないので、購入予定はありません。一度故障して買い換えてはいる状況ではあります。使用出来ない状況で修理がきかないのであれば購入も検討していきます。

以上

※従来の運営推進会議は終了の為、グリーンホーム入居者・家族、ケアセンター利用者は退席